



効いて、枯らして、抑え込む。
水田除草はビシット、決める！



水稻用 初・中期一発処理除草剤

農林水産省登録
第21741号



粒剤17



※写真はイメージです

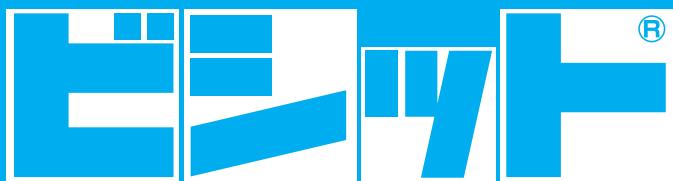


TM:ダウ・アグロサイエンス・エル・エル・シー商標
⑥は日本農業(株)の登録商標



日本農業株式会社

水稻用初・中期一発処理除草剤



粒剤17



毒 性: 普通物
(毒物に該当しないものを指している通称)
有効成分:
ベンズルフロンメチル.....0.17%
テニルクロール.....0.70%
シハロホップブチル.....0.60%

特長

ノビエ3葉期まで余裕の散布適期幅。
長い効き目で広範囲の雑草に高い除草効果。

■適用雑草及び使用方法

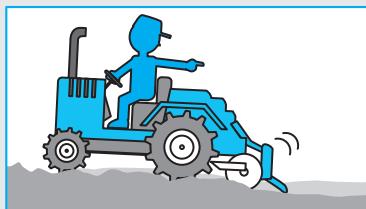
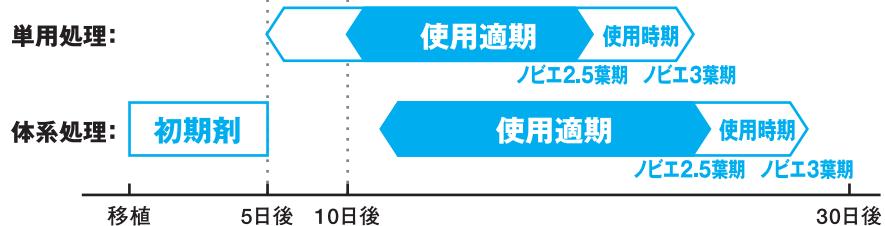
<2016年1月現在の登録内容>

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	シハロホップブチルを含む農薬の総使用回数	テニルクロールを含む農薬の総使用回数	ベンズルフロンメチルを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイクログワイ、オモダカウリカラ、ミズガヤツリヒルムシロ、セリアオミドロ・藻類による表層はく離(北陸、関東・東山・東海)	移植後5日～ノビエ3葉期ただし、移植後30日まで	砂壌土～埴土	3kg/10a	1回	湛水散布	全域(北海道、東北を除く)の普通期及び早期栽培地帯	3回以内	2回以内	2回以内

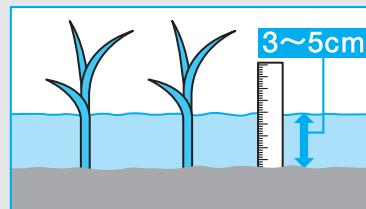
■上手な使い方

使用時期・ノビエの3葉期まで

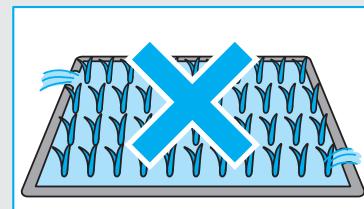
多年生雑草などが優占している圃場では早めの散布を心がけてください。ノビエ以外の雑草の処理適期を逃す恐れがあります。



整地、代かきはていねいに



処理時の水深は3～5cm



落水、かけ流しはダメ!

△ 使用上の注意事項

- 雜草の発生前から生育初期に有効ですので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように散布してください。多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ウリカラ、ミズガヤツリは2葉期まで、クログワイ、オモダカは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。
- 敷布に当たっては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。
- 苗の植付が均一となるように代かきをていねいに行い、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- クログワイ及びオモダカに使用する場合には、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがありますので使用を避けてください。
 - ①砂質土壤の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)。
 - ②軟弱な苗を移植した水田。
 - ③極端な浅植の水田および植付不良で根が田面に露出している状態。

1.使用前にラベルをよく読んでください。 2.ラベルの記載以外には使用しないでください。 3.本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 4.使用後の空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。



日本農業株式会社

東京都中央区京橋1丁目19番8号

カスタマーサービス TEL.03-6361-1414

ホームページアドレス <http://www.nichino.co.jp/>

2016年1月作成版(TO)DP11601S